

20年間に渡って土木に求められる役割の変化、技術や学術の多様化など、
現代土木の特徴を客観的に記録

日本土木史

平成3年～平成22年

日本土木史編集特別委員会 編

土木学会発行

定価：27,000円（本体25,000円＋税）

土木学会会員特価：24,300円（税込）

B5判・1832頁・箱入・上製 ISBN978-4-8106-0797-0



『日本土木史 平成3年～平成22年』刊行によせて

この度「日本土木史 平成3年～平成22年」を3月末に発行いたしました。

土木学会が編纂した我が国のいわゆる正史としての土木史は昭和11（1936）年に出版された「明治以前日本土木史」に始まります。その後、「明治工業史・土木篇」「同・鉄道篇」に続いて、日本土木史は刊行されてきました。

そして、本書は、土木学会創立100周年記念出版として、平成3年～平成22年の20年間に渡っての土木に求められる役割の変化、技術や学術の多様化など、現代土木の特徴を客観的に記録しています。

本書を、土木に携わる技術者や研究者のみならず、広く一般の方々においても現代土木の貴重な史料として手に取っていただければ幸いです。

